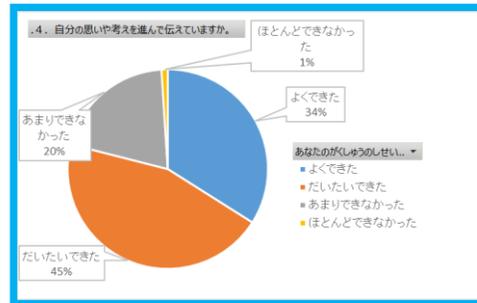
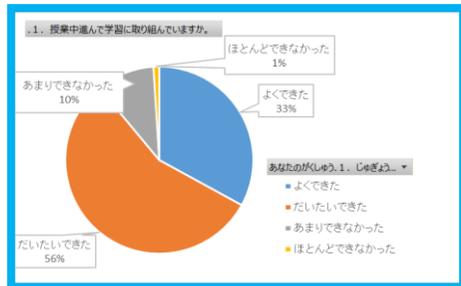




春寒の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は本校教育推進のためにご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。保護者の皆様にはお忙しい中、「令和7年度後期学校評価アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。集計結果を考察します。

「確かな学力」について

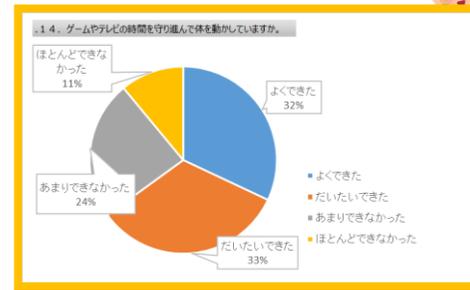
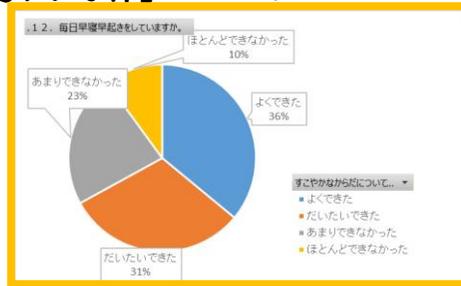


「授業中、進んで学習に取り組んでいますか」という質問では、およそ9割の児童が前向きに学習へ向かっていることが分かりました。学習のめあての共有や、話し合い活動、振り返りの時間が効果を上げていると考えられます。一方で、「できなかった」と回答した約1割の児童については、学習内容の難しさや集中の維持などが課題ではないかと考えられます。今後は、小ステップの課題設定や声かけを継続的にやりたいと思います。そして、児童の「分かった」「できた」をさらに広げていきたいと思います。

「自分の思いや考えを進んで伝えていきますか」という質問では、約8割が前向きな回答でした。授業での話し合い活動や端末を使っての考えの共有が定着してきた成果と考えられます。一方で、約2割の児童から「うまく伝えられない」との傾向が見られました。理由として、言葉の選び方の難しさ、自信の不足等が考えられます。今後は、少人数での話し合い活動を増やし、学校生活においては自分のことは自分の言葉できちんと伝えるように全教職員で子どもたちに促していきます。



「健やかな体」について



「毎日、早寝早起きができていますか」という質問では、計67%の児童が肯定的回答をし、好ましい生活習慣が定着している一方、33%の児童には、就寝・起床の時間が一定しないと自分でとらえていました。学校では、就寝・起床時刻を意識するよう生活点検週間や児童会活動の保健委員会を中心とした「早寝早起き朝ごはんキャンペーン」など、子どもが自分自身で生活リズムを整えるきっかけとなるための取組を行っています。

「ゲームやテレビの時間を守り、進んで体を動かしていますか」という質問では、65%の児童が肯定的回答をしている一方で、35%には、夜間の視聴・ゲームが長くなる等の傾向が見られます。学校では、休み時間に体を動かして「みんな遊び」をしたり児童会活動主催で運動する企画をしたりして全校で体を動かす楽しさを育てます。また、体を思う存分使って遊べるように放課後はできるだけ校庭開放をしています。大谷翔平選手からグローブやバット、阪神タイガースから柔らかい素材でできた野球セットなどを寄贈していただき、各団体も子どもが思い切り運動できるようにご協力くださっていると感じます。学校では、自分が次の日にのびのびと気持ちの良い1日が送れることができるためにはどのような生活をすればよいか、自分の体のことは自分で大切にできるように、良いと思ったことを行動できる子どもを育てていきたいと思っています。

令和7年度 後期学校評価アンケート 結果のお知らせ

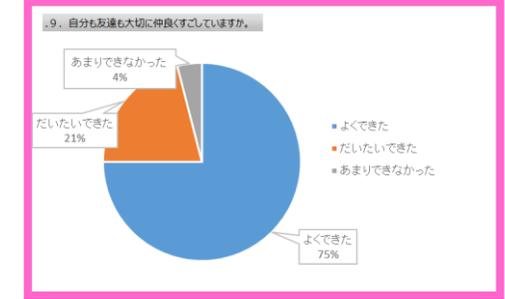
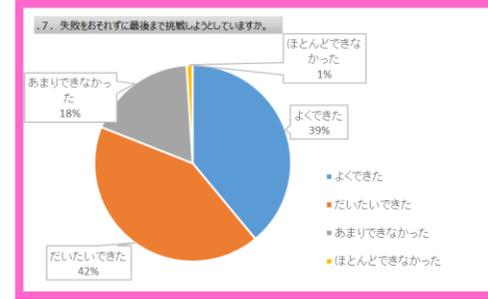
<学校教育目標>
自ら関わり、ともに支えあい学びにチャレンジする子どもの育成
 ~友だち大好き 学校大好き 地域大好き 嵐山の子~

確かな学力

健やかな体

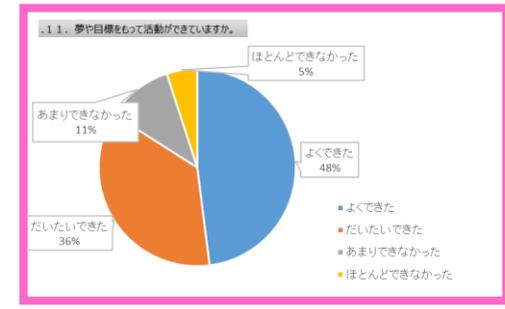
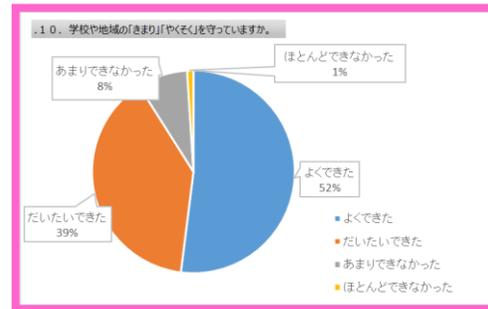
豊かな心

「豊かな心」について



「失敗をおそれずに最後まで挑戦しようとしていますか」という質問では、約8割の児童が前向きな回答をしました。授業の目標設定や協働して課題に取り組む活動が粘り強さにつながったのではと考えます。一方、約2割の児童に困難が見られ、うまくいかない気持ちや切れるなどの傾向があると考えられます。今後も励ましの声掛けを続けます。

「自分も友達も大切に仲良く過ごしていますか」という質問では、ほとんどの児童が前向きな回答をしました。挨拶や優しい言葉、相談しやすい雰囲気づくりなど、日頃の生活指導の積み重ねが表れていると考えられます。一方で、4%の児童には、遊び・学習場面で友達との行き違いが見られます。学校では、自分の気持ちを自分の言葉で伝える指導を日々行っています。また、トラブルがあったときにも自分の気持ちを自分の言葉で伝えるように促すなど友だちと仲良く協力するよさを感じられるようにしています。家庭にもご協力いただき「人を大切にする心」を学校でも育てていきたいと思っています。

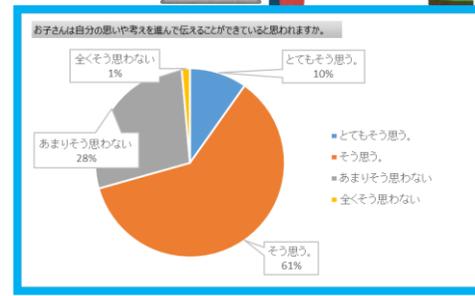
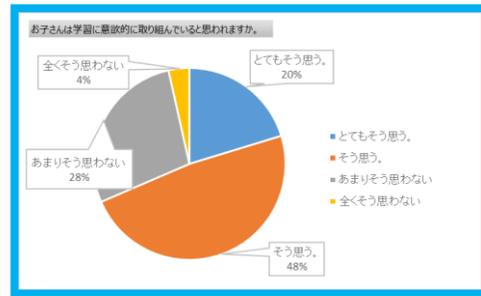


「学校や地域の『きまり』『やくそく』を守っていますか」という質問では、全体としてよく守れていることが分かりました。朝のあいさつ、廊下の歩行、授業前後の準備・片付けなど、日常の基本が定着している成果です。一方で、約1割の児童が守れていないと答えていました。今後は、「なぜそのきまりがあるか」を具体的に伝え、守れた行動をすぐに認めるような声かけをすることで学校全体が落ち着いた雰囲気になるよう啓発していきます。

「夢や目標をもって活動ができていますか」という質問では、8割強の児童が前向きな回答をしました。学校では、異学年との活動「スマイル活動」を取り入れ、今年度は初めての「スマイルラリー」にチャレンジしました。いろんな学年の子どもたちが共に活動することで、そこにはトラブルもあるかもしれませんが、子どもたちは優しくしたり優しくされたりしたときの心地よさを感じるのではないのでしょうか。特に低学年の子どもが高学年の子どもに親切にもらう経験を通して「自分もこんな人になりたい。」と思うのではないかと考えます。学校では、子ども同士のよりよい関係が「こんな人になりたい」という「夢や目標」となると考えます。

<保護者アンケート結果>

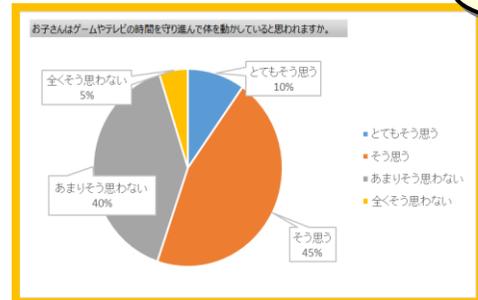
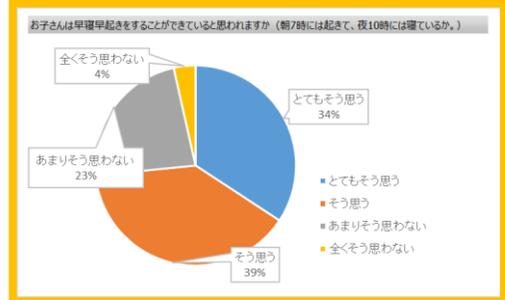
確かな学力



「お子さんは学習に意欲的に取り組んでいると思えますか」という質問では、約7割の方がお子さんの前向きに学習に向かう姿勢を感じておられますが、一方、3割の方に課題があると考えておられます。学校では、学習時のめあてを共有し、学習の終わりにめあてを達成したかについてふり返りを進めます。ご家庭でも、①学習開始・終了時刻の固定 ②できたことについて称賛 ③次の一歩の声かけへのご協力をお願いします。学校と家庭で連携し、意欲の継続を支えていきたいと思います。

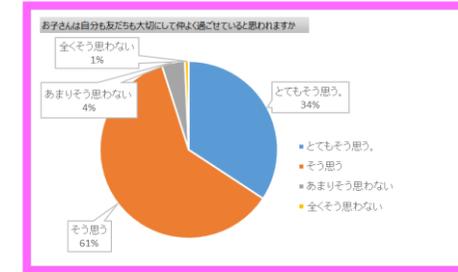
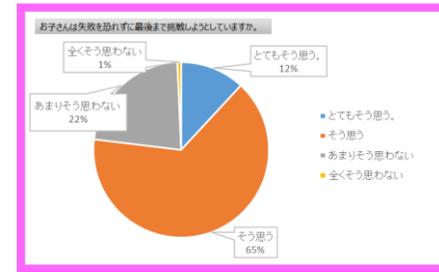
「お子さんは自分の思いや考えを進んで伝えることができていると思えますか」という質問では、約7割の方ができていると回答されました。多くの児童が自分の考えを伝えられている一方、3割の方が難しいと回答しておられます。学校では、子どもに自分の気持ちを言葉に表すことをチャレンジするように日々指導しているところです。一朝一夕で気持ちを伝え合う力は身につけません。伝え合う喜びを感じられるように温かい雰囲気づくりを大切にするとともに、子どもが自分の思いを伝えようとするのを我々大人はささげずに最後までゆったりと聞くことに力を注ぎたいと思います。ご家庭でも、日常会話で子どもの気持ちをお聞きになり、子どもが自分で伝えられたことを認める声かけをお願いします。学校はご家庭とともに児童の表現力を育てていきたいと思います。

健やかな体



「朝7時起床・夜10時就寝ができているか」という問いに、約7割以上のご家庭で生活リズムを保たれていることが分かりました。一方で、3割弱のご家庭がお子さんのことについて就寝・起床時刻が一定しない、夜間の端末利用やテレビ視聴が長い等の課題を感じておられます。ご家庭では、①就寝時刻の固定 ②就寝前30分は画面オフ ③朝食の習慣化など、継続的なご協力をお願いします。生活の土台が整うことで、学習への集中や挑戦する力の向上につながります。

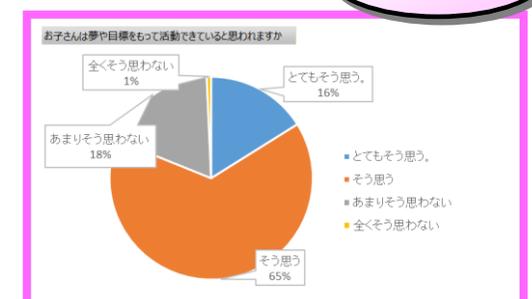
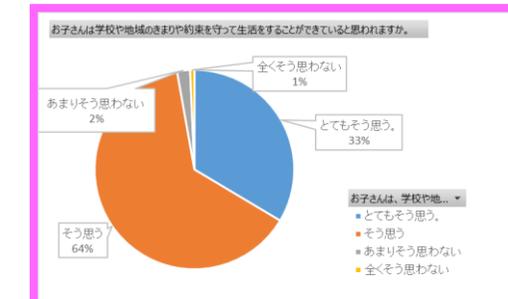
「ゲームやテレビの時間を守り、進んで体を動かしていますか」という質問では、45%の方が否定的な回答をされました。ご家庭でも、①開始前に終了時刻を決める、②終わったら必ず片付け→次の行動へ、③屋外や公園に行く習慣づくりなど、ルールと行動の流れづくりにご協力ください。メディアとの付き合い方が整うと、生活リズムや学習への集中も安定します。睡眠時間が少なくなってしまうようなゲームメディアの使い方は考えものです。ご家族内で会話を楽しむようにするなど、ゲーム・メディア以外の楽しみがおありでしたら、学級懇談会やこのアンケートでもお知らせください。



「失敗を恐れず、最後まで挑戦できていますか」という問いに対し、8割弱の方が前向きに評価しています。一方で2割弱の保護者がお子さんについて課題があると考えておられます。学校では、子どもが「失敗を恐れない」心をもてるようにするため、例えば「忘れ物をする」ということが仮に子どもの考える「失敗」とするならば、その経験をさせることが大切だと考えています。忘れ物を届けない、ということをご家庭にもご協力いただいているところですが、自分にとってマイナスなことやマイナスの感情があっても、何とかしてそれを克服しようとする強い心をもつことがチャレンジへと繋がるのではないのでしょうか。失敗しないことを目指すのではなく、失敗をしても負けないで、次に向かう力をつけて欲しいと学校では考えています。今後ともご協力をお願いします。

「自分も友だちも大切に仲よく過ごせていますか」という質問では、約95%の保護者の方が自分の子どもについて前向きにとらえておられます。ご自宅などで子どもが友だちとの好ましい人間関係について明るく朗らかな様子で話すのを聞いておられるのではないかと伺うことができます。一方で、約5%の保護者の方が自分の子どもは友だちと仲よく過ごしていないのではないかと感じておられます。学校生活を送る上で担任がお子さんの対人関係等で気になることがあった場合、ご家庭にご連絡し、お子さんができるだけ朗らかに学校生活を送ることができるよう、おうちの方と共に考えたいとご提案することがあります。おうちの方からも気になることがありましたら、いつでもご連絡ください。

豊かな心



「学校や地域のきまりや約束を守って生活できているか」という質問では、ほとんどの方が前向きな回答をされました。多くの場面で日常の基本が定着していることがうかがえます。子ども自身が自分できまりを守って明るく過ごすことができるのは幼少期からご家庭で育てられてきたからこそといえます。きまりを守ることは、大人も子どもでも社会生活を営む上で大変重要なことです。地域の一員として、子どもが自分できまりを守って生活を送ることができますよう、嵐山学区の地域とともに、保護者の皆さんでも子どもたちへのサポートをお願いします。

「夢や目標をもって活動できていますか」という質問では、8割以上の保護者が前向きに評価しています。一方で、2割程度の方がそうではないと回答されました。ご家庭や地域でも、見守っていただき子どもたちが夢や目標をもって「こんな人になりたい」「こんなことをがんばりたい」と思えますようお願いいたします。また、子どもが学習や人間関係でうまくいかないことは必ずおこります。しかし、そんなときでも大人が良い道をすぐに促すのではなく、子ども自身が自分で良い道をなんとか考え出せるように、うまくいかなくても大丈夫だといった声かけなど、子どもの背中を押し、挑戦を支える関わりをお願いします。学校は家庭とともに失敗を学びに変える土壌を育てていきたいと思います。子どもは自分で「良い」と考えたことができたとき、成長すると考えます。

<保護者の皆様から お子さんの家庭での学びについて お伺いました>

一部抜粋して掲載します。ご回答いただきました多くの皆様、ありがとうございました。

自由記述欄では、お子さんの家庭での学びについて保護者の方からご意見をお伺いしました。ご家庭で学習に向かうときのお子さんのご様子や保護者の方の思い等ご記入いただきました。

【1年生】

- 勉強をする事は嫌いではないが、まだ低学年の為、その時のやる気で音読や計算カードなどの進み具合が変わります。学習教材なども取り入れて勉強する事がストレスにならないように、基本的には本人の意思に任せています。
- 学校で学んだことを嬉しそうに話してくれる姿があります。子どものやる気、意欲を大切に一緒に考えています。
- まじめに宿題に取り組んでいるように思う。まだ1年生なので基本は隣で見守っています。

【2年生】

- 勉強をすることは、楽しいことだと感じてもらえるよう「将来〇〇がしたい。」と話してくれた時などに今の学習は、将来本人がしたいこととどの様につながっていくのかを伝えるようにしています。
- 宿題をすることに精一杯です。やらなくてはならないとは思いますが、自主的には難しいですが取り組んでいます。
- 自主的に学び続けるのはまだ難しいと思いますが、学校で学んだ事のの一つ一つを大切に取入れられるよう「今日はどんな事を勉強したの?」と声をかけて復習するようにしています。



【3年生】

- 週に3回学びに行くため、家で宿題をするのは週2日と週末の自主学習になる。その貴重な2日間はどのような内容を勉強しどのようにわかっているのか確認を取りながら一緒に宿題を進めている。自主学習はテーマがなかなか決められずアドバイスをしがちである。どの程度のことをすれば良いのか学校から伝わってこない。
- 本人に任せていた所、短時間で済ませようとして漢字等雑に書いたりして直しが多くなりました。再度宿題の意味を伝え一緒に関わっていくことで以前よりも宿題に取り組む姿勢が変わってきました。自主学習では、本人が興味のあることや疑問に思うことを題材に調べ記入しているので進んで取り組めるようになってきました。
- テストでよくなかったところを確認してそこを自主学習しています。

【4年生】

- 自らすることはあまりないが、何か興味のあることが見つかると思欲的に取り組んでいるのではないかと思います。わからないことや調べたいことがある時は助言したり一緒にしたりするようにしています。
- 4年生になってから、ほぼ家で勉強しなくなりました。いくら遊びと勉強の時間を区別しようと言ってもわかった～といいながらしません。どうしたものか悩んでいます。
- 自主学習について、1学期は何を調べて良いのか分からず悩んでいることがありましたが、少しずつ慣れてきたように感じます。こっそりノートを見て、こんなことに興味を持っているのだと嬉しく感じました。



【5年生】

- 学校や習い事の宿題等はいつまでにやらないといけないかを子ども自身で把握し取り組んでいると思います。テストや試験等で成果が出た時には、「一生懸命に取り組んだ結果がでた事を」一緒に喜ぶようにしています。
- 遊んでから宿題をする事が普通になってしまい改善出来ていません。やらなければいけないという気持ちはあるようですが、後回しになっています。どうしたら先に宿題をすませるのかわかりません。
- 2日、3日後の宿題の提出なので、半分ずつ毎日させるようにしている。自主勉強については案がないのか、漢字や計算ドリルばかりで他に案が浮かばない様子。今日何があったのかなど楽しかった事や困った事などは食事時間に聞くようにしていますが、理科の実験、家庭科の調理実習など楽しそうにしている様子が見られる。



【6年生】

- 最低限の宿題を終わらせたら、友達とオンラインゲームを数時間続けてプレイしており、とても困っています。制限時間を設け、その時間になったらアプリが終了するようにしているのですが「友達とやっているからあと1時間追加して」の繰り返しで、ずっとヘッドセットをつけてゲーム機を持ち歩いています。注意をしても「みんなでやってるから」と言い、本を読んだりする時間が低学年のころよりも減りました。どうしたら、友達とのオンラインゲームの時間を減らせるか悩んでいます。
- 子どもなりにいつも忙しいようですが、時間を作り家庭学習に取り組んでいます。どんな勉強をしようかな～と悩んでいる事もあり、こんなことしてみたら?とアドバイスしたりしています。主体的な力をもとめられる様になり、わからない事も増えましたが、口を出すと嫌そうにするので学校から電話などの連絡がない限りあまり言わないでおこうと思っています。
- 自主学習で大変苦勞しています。提出期限が途中で変更されたり、教科が指定されたりします。現在は毎日提出することになっており、毎日何をテーマにするか頭を悩ませています。とにかくページを埋めることに必死で、提出することが一番で内容が伴っていない気がします。タブレットの持ち帰りが出来ず、調べる時はいつも親のスマホを貸しています。自主学習は「主体的に」学べるのでとても大事だと思います。下の学年から段階をふんで取り組んでほしいと思います。

<アンケートを通して>

年に2回実施のアンケートに際し、貴重なご意見をいただきありがとうございます。子どもたちは間もなく今の学年を終え、一つ上の学年に進級します。そして、6年生はいよいよ中学校へ進学です。小学校は幼児期を終えたばかりの子どもから中学校に進学するまでの子どもをお預かりし、教育する場です。そのように考えると、子どもの年齢が上がれば彼らに寄り添う教職員は支援や指導を「引き算」していきます。成長に伴い、失敗しても負けないで「自分で」自分のことをやり通すことのできる子どもを育て、どの子どもも中学校へと送らなければなりません。子どもが進んでいく道には、「選択」という扉がたくさんあり、どの扉を開けるのか、それを子どもが自分で選んで前へと進んでいきます。その扉が大きく重たい場合も自分で開けて進みます。そこには、不安もありますが、新たな世界が広がるでしょう。子どもが自分でやってみよう行ってみようとするとき、そこには不安な気持ちから涙があるかもしれません。しかし、我々大人は不安なことを彼らの目の前から「取りのぞく」ことではなく、越えようとしている彼らの背中を人生の先輩として「がんばれ」とそっと押すことが大切ではないでしょうか。そこには子ども一人ひとりの成長があるからです。

間もなく、暖かな春がやってきます。これから子どもたちのどんな成長があるのでしょうか。保護者の皆様、この1年間、学校教育にご協力いただきありがとうございました。

